

訓練カリキュラム

訓練実施機関名： 医療法人啓信会

(様式A-9)

訓練の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 基礎コース ()	就職を想定する職業・職種	
	<input checked="" type="checkbox"/> 実践コース (05 介護・医療・福祉分野)		
	<input type="checkbox"/> 職場復帰支援コース (※基礎コースのみ)	<input type="checkbox"/> 託児サービス支援付訓練コース	<input type="checkbox"/> 短時間訓練コース
	<input type="checkbox"/> 「企業実習促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入	<input type="checkbox"/> 「職場見学等促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入	
訓練科名	介護サービス(実務者研修)科		施設介護員、訪問介護員、看護助手
募集期間(予定)	令和5年6月30日 ~ 令和5年7月26日		
選考日(予定)	令和5年7月31日		
選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 面接	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験	その他 ()
選考結果通知日	令和5年8月3日		
訓練期間	令和5年8月17日 ~ 令和6年2月15日 (6 か月)		(訓練日数 104 日)
訓練時間	9 時 30 分 ~ 16 時 55 分		訓練定員 24 名
訓練対象者の条件	特になし		
訓練推奨者 (特定の者を想定する場合のみ)	<input type="checkbox"/> 新規学校卒業者	<input type="checkbox"/> ニート等の若者	<input type="checkbox"/> 障害者
	<input type="checkbox"/> 被災者	<input type="checkbox"/> 外国人	<input type="checkbox"/> その他 ()
訓練目標 (仕上がり像)	実務者研修修了を前提とし、訓練を通して介護・福祉職員としての職業倫理および社会一般の通念を理解の上、介護福祉関連の業務に従事することを目指す。また職場実習を経験することにより、介護現場の現状を把握・理解し、就業後スムーズに対応できる能力と就業継続の力を身に付ける。		
訓練修了後に取得できる資格	名称 (実務者研修課程) 認定機関 (医療法人啓信会)		<input type="checkbox"/> 任意受験
	※規定カリキュラムを全て受講し、修了認定要件を満たした場合		<input type="checkbox"/> 任意受験
	※実務者研修修了証の発行は、訓練修了後およそ1週間後となります		<input type="checkbox"/> 任意受験
IT分野の訓練における基本奨励金の特例措置の適用に係る希望の有無 (適用を希望する場合のみ「○」を記入)			
WEBデザインの訓練における基本奨励金の特例措置の適用に係る希望の有無 (適用を希望する場合のみ「○」を記入)			

訓練概要	介護職として求められる専門的知識・技術を習得し、さらに企業実習により、実践的なコミュニケーション能力の向上を図ることができます。【職場見学等推進】			
	科目	科目の内容	訓練時間	
学 科	人間の尊厳と自立	生活支援の考え方 権利擁護、ノーマライゼーションの歴史、概念、課題	6時間	
	社会の理解 I	介護保険制度の概要 介護報酬、介護サービスの種類と内容	6時間	
	社会の理解 II	生活の定義 家族介護から社会介護へ、障害者総合支援法 介護実践に関する諸制度	30時間	
	介護の基本 I	尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の倫理	12時間	
	介護の基本 II	介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護における安全の確保とリスクマネジメント	24時間	
	コミュニケーション技術	コミュニケーションの基本的理解、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション	24時間	
	介護過程 I	介護過程の基礎知識、介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ	24時間	
	介護過程 II	介護過程の展開の実際、アセスメントとニーズの把握	30時間	
	発達と老化の理解 I	老化に伴う心の変化と日常生活への影響、老化に伴うからだの変化と日常生活への影響	12時間	
	発達と老化の理解 II	老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多い症状・疾病等と留意点	24時間	
	認知症の理解 I	認知症ケアの理念、認知症による生活障害、心理・行動の特徴と支援の基本	12時間	
	認知症の理解 II	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理、認知症の人や家族への支援の実際	24時間	
	障害の理解 I	障害者福祉制度・施策の背景と動向、障害者理解の課題	12時間	
	障害の理解 II	障害(児)者への支援の実際、障害の医学的側面、生活障害、心理・行動	24時間	
	こころとからだのしくみ I	高齢者に多い病気とからだのしくみ	24時間	
	実 技	医療的ケア	高齢者および障害(児)者の「たんの吸引」概論、高齢者および障害(児)者の「経管栄養」概論	54時間
		安全衛生	施設・事業所の理解、福祉サービスの実践、介護職の安全衛生の理解	4時間
実習振り返り		実習後の反省及び、自己評価	6時間	
福祉職員定着講習		セルフコントロール研修・職場内におけるチームワーク研修 組織活動・問題解決の思考法・課題形成 職場内におけるコミュニケーション・接遇、福祉サービスの実践チームワークとリーダーシップ	14時間	
就職支援		施設・事業所の理解、介護・福祉における求人活動指導・応募書類の書き方、面接指導・対策 ジョブカードの作成指導、自己PR・志望動機の見え方、雇用形態の把握、就職意欲の高揚	18時間	
生活支援技術 I		生活支援とICF、ボディメカニクスの活用、介護技術の基本、環境整備、福祉用具活用等の視点	24時間	
生活支援技術 II		体位姿勢交換・移乗移動、衣類着脱の介護、寝具の整え方、入浴の介護・身体清潔、排泄・尿失禁の介護 食事の介護、移動・歩行の介護、睡眠・夜間の介護、ターミナルケア	30時間	
介護過程 III		ケアプラン・サービス計画に基づいたモニタリングと記録、介護技術の評価	54時間	
こころとからだのしくみ II		人間の心理 人体の構造と機能、身じたく・食事・移動・移乗・清潔保持・排泄に関連した介護技術	60時間	
医療的ケア演習		喀痰吸引演習、経管栄養演習、救急蘇生法演習	12時間	
企業実習	<input type="checkbox"/> 実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 実施する ※実施する場合、カリキュラムは別途作成し、総時間のみ記入してください。	54時間		
職場見学、職場体験、職業人講話				
訓練時間総合計	618時間	学科 384時間 実技 180時間 企業実習 54時間 職場見学等 0時間		
受講者の負担する費用	教科書代	14,080円	合計 14,080円	
	その他 ()			
	備考 (実習施設までの交通費が必要)			
指導方法	訓練形態(個別指導・補講を除く)	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する	時間	
		<input type="checkbox"/> オンラインによっても指導する(当該日通所可能・混在型)		
		<input type="checkbox"/> オンラインによっても指導する(当該日通所不可・単独型)		
	施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	プロジェクター・ビデオ・DVDを活用した視覚的指導の実施		
	受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	テストによる理解度の確認、訓練終了後の福祉機器の開放		